



## 2024年1月期 決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年3月13日

上場会社名 Japan Eyewear Holdings株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5889 URL <https://www.japan-eyewear-holdings.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 真也  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼管理部長 (氏名) 柴田 俊一 TEL 03 (6411) 0919  
定時株主総会開催予定日 2024年4月26日 配当支払開始予定日 2024年4月30日  
有価証券報告書提出予定日 2024年4月30日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年1月期の連結業績 (2023年2月1日~2024年1月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年1月期	13,528	26.2	3,700	66.2	3,295	152.5	2,362	299.4	2,217	657.0	2,409	286.5
2023年1月期	10,722	—	2,226	—	1,305	—	591	—	292	—	623	—

	EBITDA※		基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
	百万円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年1月期	5,181	42.8	110.05	108.03	24.7	10.0	27.4
2023年1月期	3,627	—	25.51	25.12	6.5	4.2	20.8

※EBITDA=営業利益+減価償却費+識別可能資産償却費

(参考) 持分法による投資損益 2024年1月期 一百万円 2023年1月期 一百万円

(注) 当社は、2023年9月30日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っておりますが前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2024年1月期	34,766	13,270	13,270	38.2	554.24
2023年1月期	31,170	9,081	4,676	15.0	406.77

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年1月期	3,446	△904	△388	4,426
2023年1月期	2,936	△380	△2,585	2,209

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年1月期	—	0.00	—	19.00	19.00	454	17.3	4.0
2025年1月期(予想)	—	22.00	—	22.00	44.00	—	39.3	—

(注) 2024年1月期の配当原資には、資本剰余金が含まれています。

詳細は、後述の「資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳」をご覧ください。

3. 2025年1月期の連結業績予想（2024年2月1日～2025年1月31日）

（％表示は、通期は対前期増減率）

通期	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		EBITDA		基本的1株当たり 当期利益 円 銭
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
	14,960	10.6	4,300	16.2	3,900	18.3	2,680	13.4	2,680	20.9	5,900	13.9	111.93

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年1月期	23,944,260株	2023年1月期	11,480,020株
2024年1月期	－株	2023年1月期	－株
2024年1月期	20,145,582株	2023年1月期	11,480,020株

（注） 当社は、2023年9月30日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っておりますが前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益を算定しております。

（参考）個別業績の概要

1. 2024年1月期の個別業績（2023年2月1日～2024年1月31日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年1月期	553	－	261	－	87	－	△876	－
2023年1月期	－	－	△18	－	△19	－	△20	－

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
2024年1月期	円 銭 △43.50	円 銭 △42.70
2023年1月期	△1.80	－

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2024年1月期	百万円 25,309	百万円 11,286	% 44.6	円 銭 471.13
2023年1月期	5,805	5,800	99.8	504.70

（参考）自己資本 2024年1月期 11,280百万円 2023年1月期 5,794百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

当社は当事業年度において、当社を存続会社として子会社を吸収合併したことにより、前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との間に差異が生じております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- （1）当社グループは、国際会計基準を適用しております。
- （2）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- （3）2024年3月13日に当社ウェブサイト（<https://www.japan-eyewear-holdings.co.jp/>）に決算説明資料を掲載予定です。

資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳

2024年1月期の配当のうち、資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳は以下のとおりです。

基準日	期末	合計
1株当たり配当金	19円00銭	19円00銭
配当金総額	454百万円	454百万円

(注) 純資産減少割合 0.024

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結財政状態計算書 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結持分変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報) .....	11
(1株当たり利益) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、世界を代表する眼鏡生産地「福井・鯖江」の熟練したクラフトマンシップにより自社で企画・デザインする高品質のアイウェアを製造し、ブランドの世界観を表現した独自の店舗を中心に販売しております。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染者数が減少し、さらには2023年5月に「新型コロナウイルス感染症（いわゆる2類相当）」が「5類感染症」へ移行したことにより、新型コロナウイルス感染症による影響は収束しつつあり、個人消費は回復基調にあります。また、2022年10月から日本への入国における制限が緩和され、1日あたりの新規入国者数の上限が撤廃されたことなどから、インバウンド需要が拡大しております。一方、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による地政学上のリスクや円安などの影響による原材料・物流費・光熱費等の高騰など、先行き不透明な状況も続いております。

このような状況下で当社グループは、「顧客数回復による売上増加」、「フレーム販売価格の見直し」、「国内外における新規出店の推進」を軸として事業展開を継続しており、当社グループの主要ブランドである金子眼鏡、フォーナインズともに国内外のお客様から高い支持をいただいております。

以上の結果、当連結会計年度の経営成績は、売上収益13,528百万円（前期比26.2%増）、営業利益3,700百万円（前期比66.2%増）、税引前利益3,295百万円（前期比152.5%増）、当期利益2,362百万円（前年同期比299.4%増）となりました。

当連結会計年度における事業セグメント別の売上収益の状況は以下のとおりであります。

#### 〔金子眼鏡〕

金子眼鏡グループでは、国内個人消費の回復やインバウンド需要の拡大により、店舗販売が堅調に推移しています。インバウンド顧客向け店舗販売は2022年10月以降急速に回復しコロナウイルス感染拡大前を超える水準となりました。また、当連結会計年度において新規出店計8店舗（国内7店舗、海外1店舗）を実施した結果、店舗数は83店舗（国内80店舗、海外3店舗）となりました。なお、2023年4月、中国・上海において中国1号店となる武康庭376店をオープンしました。

以上の結果、金子眼鏡事業の売上収益は8,623百万円（前期比29.7%増）、セグメント利益は2,887百万円（前期比57.7%増）となりました。

#### 〔フォーナインズ〕

フォーナインズグループでは2023年2月に販売価格を改定したことに加えて、直営店における国内顧客の回復及びインバウンド顧客の増加と相俟って、店舗販売は順調に推移しています。また、当連結会計年度において国内新規出店3店舗を実施し、店舗数は15店舗（国内14店舗、海外1店舗）となりました。卸売事業についても、2023年4月及び10月に実施した新型商品展示会において国内、海外ともに前期を上回る受注額を獲得しております。さらには、コスト改善にも継続的に取り組んでおり、人件費、広告宣伝費をはじめとした費用支出の見直しを行い、環境変化に対応しやすい経営体質への転換を図っております。

以上の結果、フォーナインズ事業の売上収益は4,905百万円（前期比20.5%増）、セグメント利益は1,304百万円（前期比83.7%増）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度の資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,595百万円増加し、34,766百万円となりました。これは主に、現金及び現金同等物が2,217百万円増加、有形固定資産が575百万円増加したことなどによるものです。

当連結会計年度の負債合計は、前連結会計年度末に比べ594百万円減少し、21,495百万円となりました。これは主に、借入金892百万円が減少、契約負債が140百万円増加したことなどによるものです。

当連結会計年度の資本合計は、前連結会計年度末に比べ4,189百万円増加し、13,270百万円となりました。これは主に、当期利益2,362百万円を計上したことなどによるものです。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況について、現金及び現金同等物の残高は、営業活動により3,446百万円の増加、投資活動により904百万円の減少、財務活動により388百万円の減少、現金及び現金同等物に係る換算差額により63百万円の増加の結果、当連結会計年度末には4,426百万円となり、前連結会計年度末(2,209百万円)に比べ2,217百万円(100.4%)の増加となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,446百万円の収入(前期比17.4%増)となりました。これは主に、税引前利益3,295百万円並びに減価償却費及び償却費1,481百万円の計上があった一方で、営業債権及びその他の債権の増加235百万円、利息の支払額351百万円、法人所得税の支払額1,044百万円等があったことによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、904百万円の支出(前期比137.7%増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出771百万円、敷金及び保証金の差入による支出140百万円等によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、388百万円の支出(前期比85.0%減)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出950百万円、株式の発行による収入1,780百万円、リース負債の返済による支出1,218百万円によるものです。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響は収束へと向かい、経済活動は活発化していく期待はあるものの、長引くウクライナ情勢やイスラエルとパレスチナの武力衝突等の不安定な国際情勢や物価上昇、部分的な供給制約等が続き、依然として先行き不透明な状況で推移するものと予想しております。当社グループは日本発の高価格アイウェアブランドを目指し、高級感を求める顧客の要求を常に意識し、改善・改革に取り組んでまいります。国内市場においては、お客様に照準を合わせた商品・技術・接客サービス面のアプローチを積極的に強化・推進することで顧客満足度の向上を実現し、ロイヤルカスタマーに結び付けることで、企業価値の向上に努め、成長を図る所存です。また、グローバル展開を視野に新しい展開を拡大してまいります。

出店戦略においては、金子眼鏡グループでは、引き続きブランド力を希薄化させないよう、厳選した立地に年間5店舗程度の新規出店及び既存店舗の近隣好立地への店舗移転を目標として、安定的に店舗数を拡大し、当社ブランドの認知向上及び新規顧客需要の創出を図っていく方針であります。

また、従来卸売比率の高かったフォーナインズグループにおいても、金子眼鏡の出店ノウハウを活かし、直営店出店を加速していく方針であります。まずは都心を中心に、年間数店舗程度の新規出店を進めてまいります。

グローバル・ブランドとして更なる成長を図るため、高価格帯アイウェアの市場として成長可能性が高く、ラグジュアリーブランドへの嗜好性も高い中国を重視すべきと考えており、既に出店済みであるフランス、シンガポールに加え、2023年4月に上海に金子眼鏡の中国1号店(直営店)を出店いたしました。当社グループとして高い成長ポテンシャルを見込んでおり中国におけるブランド認知を向上させるとともに、中国における現地売上拡大及び国内インバウンド売上への更なる拡大を目指してまいります。まずは、中国におけるブランドイメージが醸成されやすいロケーションを中心に直営店出店を進め、中長期的には、中国の主要都市の一等地への出店を拡大するとともに、台湾・香港をはじめとしたグレーター・チャイナ及びアジアでの出店も検討してまいります。また中長期的には、直営店に加えて、必要に応じて現地パートナー企業との提携も検討していく方針です。

また、当社グループでは、ブランド価値向上を背景にした価格改定を含む戦略的なプライシング、高品質のフレームに合うレンズ等の高機能・高単価商品の積極的な提案により、継続的な単価の向上を図っております。単価向上を図るためにはカスタマーロイヤリティが構築できていることが前提となりますが、カスタマーロイヤリティ構築及び単価向上を実現するため、高品質のものづくりの追求に加え、ブランドイメージを高める店舗立地や店舗デザインの実現、店舗スタッフの専門性向上に努めております。フォーナインズにおいては価格改定について従来積極的に取り組んでおりませんでした。金子眼鏡のノウハウを活かし、収益性の向上に努めてまいります。

以上により、2025年1月期の通期連結業績予想を、売上収益14,960百万円、営業利益4,300百万円、税引前利益3,900百万円、当期利益2,680百万円としております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への適切な利益還元を経営上の最重要課題の一つと認識しており、連結配当性向40%を目指しております。

当期の期末配当につきましては、前回発表の予想から2円増額し、1株当たり19円とさせていただきたいと存じます。この結果、1株当たりの年間配当金は19円となる予定です。なお、次期の配当金につきましては、中間配当を1株当たり22円、期末配当を1株当たり22円とし、年間の配当金は1株当たり44円を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性及び利便性の向上を図るため、2022年1月期より、国際会計基準を適用しております。



## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当連結会計年度 (2024年1月31日)
<b>資産</b>		
流動資産		
現金及び現金同等物	2,209	4,426
営業債権及びその他の債権	916	1,150
棚卸資産	1,313	1,497
その他の流動資産	145	165
流動資産合計	4,585	7,240
非流動資産		
有形固定資産	2,079	2,655
使用権資産	2,450	2,688
のれん	13,899	13,899
商標権	5,897	5,897
その他の無形資産	391	363
その他の金融資産	1,755	1,883
繰延税金資産	100	116
その他の非流動資産	11	22
非流動資産合計	26,585	27,526
資産合計	31,170	34,766
<b>負債</b>		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	371	428
契約負債	305	445
リース負債	1,043	1,033
未払法人所得税	759	770
1年内返済予定の長期借入金	950	950
その他の流動負債	715	665
流動負債合計	4,144	4,293
非流動負債		
借入金	13,665	12,772
リース負債	1,450	1,703
引当金	33	37
繰延税金負債	2,296	2,189
その他の非流動負債	500	500
非流動負債合計	17,945	17,202
負債合計	22,089	21,495
<b>資本</b>		
資本金	10	900
資本剰余金	5,086	10,529
利益剰余金	△443	1,774
その他の資本の構成要素	23	66
親会社の所有者に帰属する持分合計	4,676	13,270
非支配持分	4,404	—
資本合計	9,081	13,270
負債及び資本合計	31,170	34,766

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年2月1日 至 2023年1月31日)	当連結会計年度 (自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)
売上収益	10,722	13,528
売上原価	2,508	3,042
売上総利益	8,213	10,485
販売費及び一般管理費	5,997	6,689
その他収益	22	19
その他費用	11	115
営業利益	2,226	3,700
金融収益	0	4
金融費用	921	409
税引前利益	1,305	3,295
法人所得税費用	713	932
当期利益	591	2,362
当期利益の帰属		
親会社の所有者	292	2,217
非支配持分	298	145
当期利益	591	2,362
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	25.51	110.05
希薄化後1株当たり当期利益(円)	25.12	108.03

## (連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年2月1日 至 2023年1月31日)	当連結会計年度 (自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)
当期利益	591	2,362
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資 本性金融資産	—	—
純損益に振り替えられることのない項目合計	—	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	31	46
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	31	46
税引後その他の包括利益	31	46
当期包括利益	623	2,409
当期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	309	2,260
非支配持分	314	148
当期包括利益	623	2,409

## (3) 連結持分変動計算書

前連結会計年度(自 2022年2月1日 至 2023年1月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				合計	非支配持分	合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構成要素			
2022年2月1日残高	10	5,084	△731	6	4,369	4,070	8,439
当期利益	—	—	292	—	292	298	591
その他の包括利益	—	—	—	16	16	15	31
当期包括利益合計	—	—	292	16	309	314	623
連結除外による減少高	—	—	△5	—	△5	—	△5
子会社に対する所有持分の変動	—	2	—	—	2	19	21
新株予約権の発行	—	—	—	1	1	—	1
所有者との取引額合計	—	2	△5	1	△1	19	17
2023年1月31日時点の残高	10	5,086	△443	23	4,676	4,404	9,081

当連結会計年度(自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				合計	非支配持分	合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構成要素			
2023年2月1日残高	10	5,086	△443	23	4,676	4,404	9,081
当期利益	—	—	2,217	—	2,217	145	2,362
その他の包括利益	—	—	—	43	43	3	46
当期包括利益合計	—	—	2,217	43	2,260	148	2,409
新株の発行	890	890	—	—	1,780	—	1,780
企業結合による変動	—	4,553	—	—	4,553	△4,553	—
新株予約権の失効	—	—	1	△1	—	—	—
所有者との取引額合計	890	5,443	1	△1	6,333	△4,553	1,780
2024年1月31日時点の残高	900	10,529	1,774	66	13,270	—	13,270

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年2月1日 至 2023年1月31日)	当連結会計年度 (自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	1,305	3,295
減価償却費及び償却費	1,400	1,481
減損損失	5	—
固定資産除却損	2	—
受取利息及び受取配当金	△0	△4
支払利息	921	409
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△246	△235
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	320	117
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△14	△183
その他	△124	△42
小計	3,570	4,838
利息及び配当金の受取額	0	4
利息の支払額	△392	△351
法人所得税の支払額	△262	△1,044
法人所得税の還付額	13	—
助成金の受取額	6	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,936	3,446
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△319	△771
無形資産の取得による支出	△1	△2
敷金及び保証金の差入による支出	△61	△140
敷金及び保証金の回収による収入	3	10
資産除去債務の履行による支出	△1	△0
その他	0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△380	△904
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	14,800	—
長期借入金の返済による支出	△16,129	△950
コミットメントライン関連費用の支払額	△185	—
株式の発行による収入	—	1,780
非支配持分からの払込による収入	21	—
リース負債の返済による支出	△1,094	△1,218
新株予約権の発行による収入	1	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,585	△388
現金及び現金同等物に係る換算差額	39	63
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9	2,217
現金及び現金同等物の期首残高	2,199	2,209
現金及び現金同等物の期末残高	2,209	4,426

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

記載すべき事項はありません。

## (セグメント情報)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会（最高経営意思決定者）が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっております。

当社グループは、主に眼鏡製品を販売しており、2つのブランドカテゴリー（金子眼鏡、フォーナインズ）を中心に事業活動を展開しています。そのうえで、各ブランドの責任者が、ブランドごとに幅広い権限と、売上・利益への責任を持ち、機動的な意思決定を行っていることから、当社のセグメントはブランドを主として「金子眼鏡事業」「フォーナインズ事業」の2つを報告セグメントとしています。

「金子眼鏡事業」は、金子眼鏡ブランドにおけるブランドカテゴリー別事業を包括しています。

「フォーナインズ事業」は、フォーナインズブランドにおけるブランドカテゴリー別事業を包括しています。

## (2) 報告セグメントごとの売上収益、利益または損失、その他の重要な項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2022年2月1日 至 2023年1月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	連結
	金子眼鏡	フォーナインズ	計		
売上収益					
外部収益	6,650	4,072	10,722	—	10,722
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	6,650	4,072	10,722	—	10,722
セグメント利益	1,831	710	2,541	△314	2,226
金融収益	—	—	—	—	0
金融費用	—	—	—	—	921
税引前利益	—	—	—	—	1,305
その他の項目					
減価償却費及び償却費	1,001	376	1,377	23	1,400

(注) セグメント利益の調整額△314百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当連結会計年度（自 2023年2月1日 至 2024年1月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額	連結
	金子眼鏡	フォーナインズ	計		
売上収益					
外部収益	8,623	4,905	13,528	—	13,528
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	8,623	4,905	13,528	—	13,528
セグメント利益	2,887	1,304	4,192	△492	3,700
金融収益	—	—	—	—	4
金融費用	—	—	—	—	409
税引前利益	—	—	—	—	3,295
その他の項目					
減価償却費及び償却費	1,057	400	1,457	23	1,481

（注） セグメント利益の調整額△492百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当連結会計年度 (2024年1月31日)
親会社の所有者に帰属する当期利益（百万円）	292	2,217
当期利益調整額（百万円）	—	—
希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する当期利益 （百万円）	292	2,217
加重平均普通株式数（千株）	11,480	20,145
普通株式増加数		
新株予約権（千株）	180	390
希薄化後の加重平均普通株式数（千株）	11,660	20,535
基本的1株当たり当期利益（円）	25.51	110.05
希薄化後1株当たり当期利益（円）	25.12	108.03

（注） 当社は、2023年9月30日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っておりますが前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益を算定しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。